

# 北海道

北海道教育委員会  
学校教育局生徒指導・学校安全課

- ☑ 24時間、365日対応
- ☑ 全ての時間帯で自主運営

## 24時間子供 SOS ダイヤルの主たる目的

1. 自機関が主体となって  
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、  
悩みの解決 **未回答** で担わないこと
3. 子どもの話し相手となり、  
悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)  
の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

## 実施状況

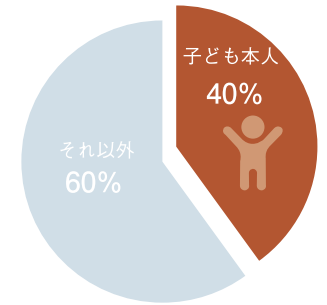
### 年間のおおよその相談件数

# 2500 件

(参考) 令和2年の北海道の5-19歳の人口: 627,591人

(Q1-6)

### 相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります (Q3-3)

### 24時間子供 SOS ダイヤルの何らかの周知活動

- ☑ 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

### 周知活動の内容詳細

- ☑ 1. 全対象学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布
- 2. 一部の学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布
- 3. 授業内での紹介
- ☑ 4. Twitter アカウント  
の運用・紹介
- 5. Instagram アカウント  
の運用・紹介
- 6. LINE アカウント  
の運用・紹介
- 7. 児童館での周知
- 8. 図書館での周知
- 9. バスや電車などでの周知
- 10. 塾・習い事などでの周知
- 11. NPO などへの周知
- 12. ローカル CM(テレビなど)
- 13. その他
- 14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

- 1. 行っている
- ☑ 2. 行っていない

(Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- ☑ 2. 行っていない

(Q4-2)

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

全ての時間帯で自主運営

(Q1-9)

(Q1-10)

※祝日・年末年始も同じ体制

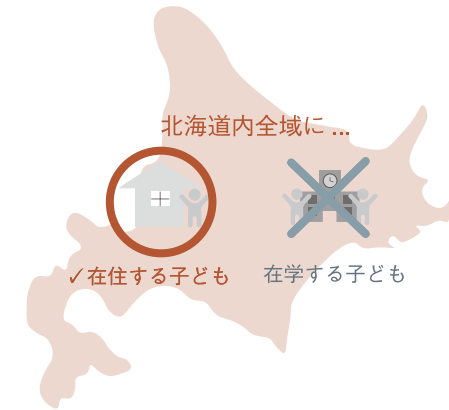
## 対象

### 対象者

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

### 対象地域と対象属性



(Q1-5)  
(Q2-2)

## 対応者の専門性

### 相談員の属性

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

✓ 4. 元教員など  
学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

### 相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

✓ 1. 臨床心理士・  
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

✓ 4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・  
助産師・保健師

9. キャリア  
コンサルタント

10. その他の  
有資格者など

11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

# 札幌市

札幌市教育委員会児童生徒担当課

- 24 時間、365 日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

## 24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

1. 自機関が主体となって  
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、  
悩みの解決までは主体となって担わないこと
3. 子どもの話し相手となり、  
悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）  
の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体

0	月	火	水	木	金	土	日
6	委託運営						
12	自主運営						
18							
24							

(Q1-9)

※祝日・年末年始は土日と同じ体制

(Q1-10)

### 委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
4. その他

(Q1-11)

### 委託理由

24 時間対応の事業を継続するため

(Q1-12)

## 実施状況

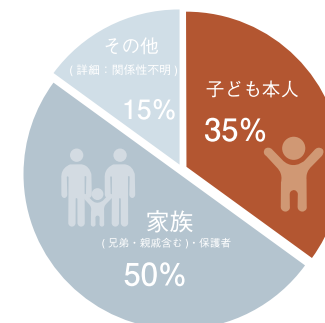
### 年間のおおよその相談件数

# 1500 件

(参考) 令和 2 年の札幌市の 5-19 歳の人口: 232,621 人

(Q1-6)

### 相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため 100%にならない場合があります

(Q3-3)

### 24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

### 周知活動の内容詳細

- 1. 全対象学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布

- 2. 一部の学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布

- 3. 授業内での紹介

- 4. Twitter アカウント  
の運用・紹介

- 5. Instagram アカウント  
の運用・紹介

- 6. LINE アカウント  
の運用・紹介

- 7. 児童館での周知

- 8. 図書館での周知

- 9. バスや電車などでの周知

- 10. 塾・習い事などでの周知

- 11. NPO などへの周知

- 12. ローカル CM(テレビなど)

- 13. その他

( 市公式ホームページ )

- 14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学
小学生	○	○	
中学生	○	○	
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	×
特別支援学校等	○	○	×

小学生未満	×
学校等に在学していない未成年	×
大学生 (20歳未満)	×
大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

1. 臨床心理士・公認心理師

2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者

4. 元教員など学校現場の経験者

5. その他

委託運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者

✓ 4. 元教員など学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

1. 臨床心理士・公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・助産師・保健師

9. キャリアコンサルタント

10. その他の有資格者など

✓ 11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

委託運営の場合

1. 臨床心理士・公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・助産師・保健師

9. キャリアコンサルタント

10. その他の有資格者など

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

分からない・把握していない





### 24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

- ✓ 24 時間、365 日対応
- ✓ 一部時間帯で他機関へ委託

### 運営体制について

#### おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6						委託運営	
12						自主運営	
18							
24							

※祝日・年末年始は土日と同じ体制 (Q1-10)

#### 委託先の業種

- 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
- 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
- コールセンター等を主たるサービスとする民間企業

✓ 4. その他

( 電話相談業務や相談員の有資格者、  
研修体制が整っている民間企業 )

#### 委託理由

相談者からの相談が、夜間や休日がとても多くなっており、担当部署での対応では難しくなってきたため、これらの時間帯についてはこれまでに電話相談対応実績のある業者に委託することとした。

(Q1-12)

### 実施状況

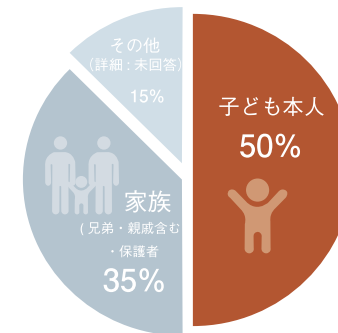
#### 年間のおおよその相談件数

# 674 件

※令和元年度値

(参考) 令和2年の青森県の5-19歳の人口: 153,286人 (Q1-6)

#### 相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります (Q3-3)

#### 24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- ✓ 1. している
- 2. していない (Q3-1)

#### 周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

✓ 9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

✓ 13. その他

( 生徒指導担当者会議で周知 )

14. 何も実施していない (Q3-2)

#### 接続率についての調査

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない (Q4-1)

#### 利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない (Q4-2)

対象

対象者

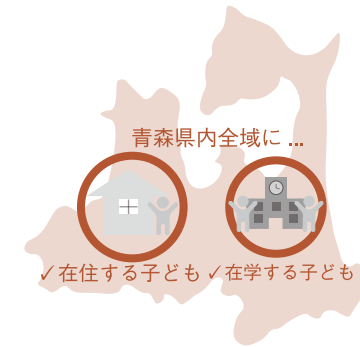
自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	×
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)  
(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営・委託運営同じ

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- ✓ 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど
- ✓ 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者

- ✓ 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・助産師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など

- ✓ 11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・助産師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など

分からない・把握していない

- 11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

# 岩手県

岩手県教育委員会事務局学校調整課

- 24 時間、365 日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

## 24 時間子供 SOS ダイヤルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

※祝日・年末年始は土日と同じ体制

(Q1-9)  
(Q1-10)

### 委託先の業種

- 1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
- 2. 子ども支援以外のサービスを提供する非営利団体
- 3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
- 4. その他

公開不可

(Q1-11)

### 委託理由

弊課職員の勤務時間外であるため

(Q1-12)

## 実施状況

### 年間のおおよその相談件数

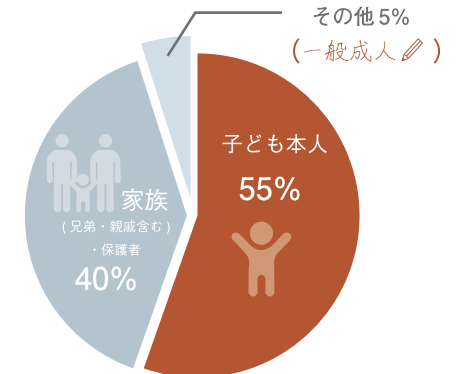
# 300 件

(参考) 令和 2 年の岩手県の 5-19 歳の人口: 154,487 人 (Q1-6)

### 24 時間子供 SOS ダイヤルの何らかの周知活動

- ✓ 1. している
- 2. していない (Q3-1)

### 相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため 100%にならない場合があります (Q3-3)

### 周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

✓ 3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

✓ 13. その他

( 県 HP での紹介 )

14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

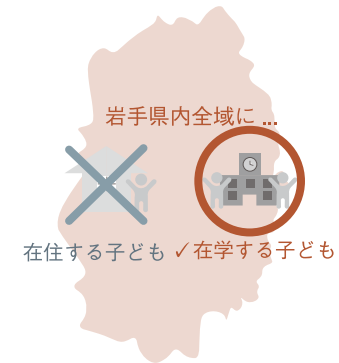
	在学中	不登校	中途退学
小学生	○	○	
中学生	○	○	
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	×
特別支援学校等	○	○	×

小学生未満	×
学校等に在学していない未成年	×
大学生 (20歳未満)	×
大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

※対象はあるが、それらは目安であり、架電のあった相談については全て対応している

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営・委託運営同じ

1. 臨床心理士・公認心理師

2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

4. 元教員など  
学校現場の経験者

✓ 13. その他  
(指導主事等)

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・  
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・  
助産師・保健師

9. キャリア  
コンサルタント

✓ 10. その他の有資格者など  
(学校心理士)

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

# 宮城県

宮城県教育庁高校教育課学校経営・生徒指導班 / 宮城県総合教育センター相談支援班

## 24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

- ✓ 24 時間、365 日対応
- ✓ 一部時間帯で他機関へ委託

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体



(Q1-9)

※祝日・年末年始は土日と同じ体制 (Q1-10)

### 委託先の業種

- 1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
- 2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
- ✓ 3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
- 4. その他

(Q1-11)

### 委託理由

対応業務を行っている部署の勤務時間の事情

(Q1-12)

## 実施状況

### 年間のおおよその相談件数

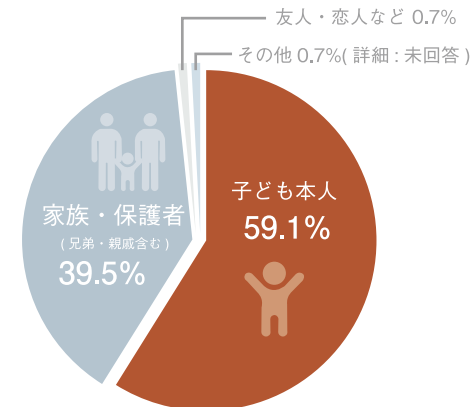
# 1100 件

※平成 29 年度、30 年度、令和元年度の平均相談件数

(参考) 令和 2 年の宮城県の 5-19 歳の人口: 300,871 人

(Q1-6)

### 相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため 100%にならない場合があります

(Q3-3)

### 24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

### 周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM (テレビなど)

✓ 13. その他 (県教育委員会・総合教育センター関係機関 web ページ)

14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

## 対象

### 対象者

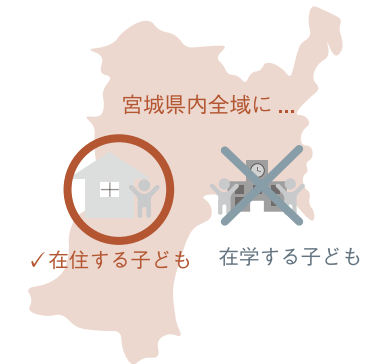
自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	×
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

### 対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)  
(Q2-2)

## 対応者の専門性

### 相談員の属性

自主運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

✓ 4. 元教員など  
学校現場の経験者

✓ 5. その他  
(大学院の心理学課程に  
在籍する者)

委託運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

4. 元学校教員など  
学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

### 相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・  
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

✓ 6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・  
助産師・保健師

9. キャリア  
コンサルタント

10. その他の  
有資格者など

11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

# 仙台市

仙台市教育委員会教育相談課

- 24 時間、365 日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

## 24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

※祝日・年末年始は土日と同じ体制 (Q1-9)

### 委託先の業種

- 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
- 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
- コールセンター等を主たるサービスとする民間企業

✓ 4. その他

（自死予防、相談業務を行う非営利団体）

(Q1-11)

### 委託理由

勤務時間外の委託となっている

(Q1-12)

## 実施状況

### 年間のおおよその相談件数

# 未回答

(参考) 令和2年の仙台市の5-19歳の人口: 138,716人

(Q1-6)

### 相談者のおおよその内訳

# 回答不可

(Q3-3)

### 24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

### 周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等（チラシ、ポスター等）の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等（チラシ、ポスター等）の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM( テレビなど )

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	×→○		小学生未満	○
中学生	○	×→○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	×→○	×→○	×	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	×→○	×	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)  
(Q2-2)

\*i) 2021年6月24日に回答内容の変更依頼あり

- 設問：Q2-1. 24時間子供SOSダイヤルはどういった学年・年齢層が対象となっていますか。
- 変更日時：2021年6月24日
- 変更前：在学中の高校生・不登校の小中高特別支援学校等の子ども・中途退学者・学校等に在学していない未成年・大学生は対象外
- 変更後：在学中の高校生、不登校の小中高特別支援学校等の子どもは対象に追加
- 変更理由：質問内容を読み違えたため

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

- 臨床心理士・公認心理師
- 上記以外の心理カウンセラーなど
- 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 元教員など学校現場の経験者
- その他

委託運営の場合

- 臨床心理士・公認心理師
- 上記以外の心理カウンセラーなど
- 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 元教員など学校現場の経験者
- その他

未回答

未回答

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営・委託運営同じ

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
2. 弁護士
3. 社会福祉士・精神保健福祉士
4. 教員免許保持者
5. 婦人科医
6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
7. その他医師
8. 看護師・助産師・保健師
9. キャリアコンサルタント
10. その他の有資格者など
11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)



# 山形県

山形県教育センター

- 24 時間、365 日対応
- 全ての時間で自主運営

## 24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

全ての時間帯で自主運営

※祝日・年末年始も同じ体制

(Q1-9)

(Q1-10)

## 実施状況

年間のおおよその相談件数

# 500 件

※県独自回線も含めると 900 件程度

(参考) 令和 2 年の山形県の 5-19 歳の人口: 138,093 人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳

# 未回答

(Q3-3)

24 時間子供 SOS ダイアルの何らか周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

## 周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウント  
の運用・紹介

5. Instagram アカウント  
の運用・紹介

6. LINE アカウント  
の運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

✓ 13. その他

- ・ 新聞社などへの広報依頼
- ・ 他機関で発行している「相談窓口」への掲載など

14. 何も実施していない

(Q3-2)

## 接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

## 利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

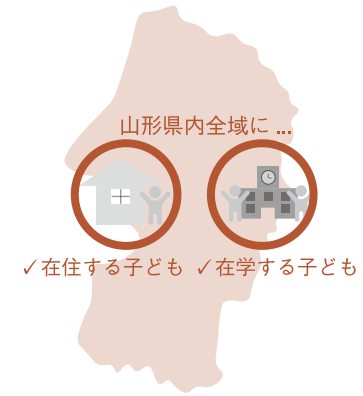
対象

対象者

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- ✓ 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど
- ✓ 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- ✓ 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・助産師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など

- ✓ 11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

# 栃木県

栃木県教育委員会事務局

- 24時間、365日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

## 24時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

1. 自機関が主体となって  
子どもの悩みの解決<sup>その他</sup> 寄り添うこと
2. 自機関で子どもの話し相手となり相談を促し、  
自ら悩みの解決を図れるよう支援するとともに、
3. 場合に応じて関係団体を紹介する<sup>✍</sup>  
悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）  
の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

## 委託について

### 委託されている主な時間帯



(Q1-9)  
(Q1-10)

※祝日・年末年始は日曜と同じ体制

### 委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
4. その他

(Q1-11)

### 委託理由

夜間に勤務できる相談員の確保が困難なため<sup>✍</sup>

(Q1-12)

## 実施状況

### 年間のおおよその相談件数

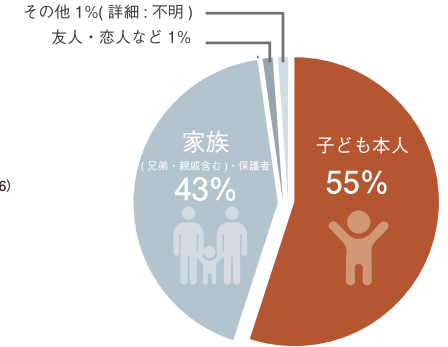
# 1411 件

※令和元年度値<sup>✍</sup>

(参考) 令和2年の栃木県の5-19歳の人口: 963,804人

(Q1-6)

### 相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります

### 24時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

### 周知活動の内容詳細

(Q3-3)

- 1. 全対象学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウント  
の運用・紹介

5. Instagram アカウント  
の運用・紹介

6. LINE アカウント  
の運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

( 社会教育団体などの  
関係機関への周知<sup>✍</sup> )

14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-2)

### 接続率についての調査

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-1)

### アンケートを行っていない理由

匿名保持のため  
追跡調査は行わない<sup>✍</sup>

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学
小学生	○	○	
中学生	○	○	
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○
特別支援学校等	○	○	○

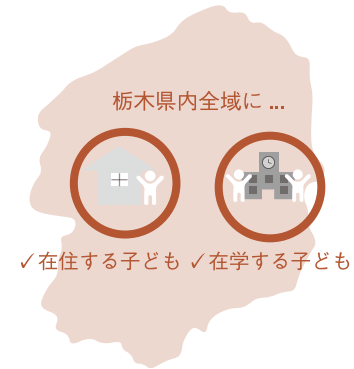
  

小学生未満	○
学校等に在学していない未成年	○
大学生 (20歳未満)	×
大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

4. 元教員など  
学校現場の経験者

✓ 5. その他  
(*カウンセリングの専門的講座研修等  
30単位以上を修了したもの*)

委託運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

4. 元教員など  
学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・  
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

✓ 4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

✓ 6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・  
助産師・保健師

9. キャリア  
コンサルタント

10. その他の  
有資格者など

委託運営の場合

1. 臨床心理士・  
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・  
助産師・保健師

9. キャリア  
コンサルタント

10. その他の  
有資格者など

分からない・  
把握していない

※令和2年度の実績

(Q2-5)

# 群馬県

群馬県総合教育センター

- 24時間、365日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

## 24時間子供SOSダイヤルの主たる目的

1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと
- ✓ 3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周りにいる大人(親、先生など)の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0	委託運営						
6	委託運営						
12	自主運営						
18	委託運営						
24	委託運営						

(Q1-9)

※8/10~16、祝日・年末年始は土日と同じ体制

(Q1-10)

### 委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
- ✓ 3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
4. その他

(Q1-11)

### 委託理由

夜間休日相談業務について、  
電話の繋がりにくさを解消するとともに、  
有資格の相談員による的確な対応が図られるようにするため

(Q1-12)

## 実施状況

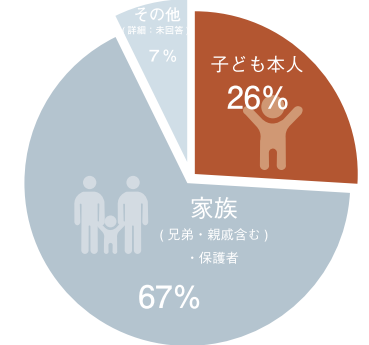
### 年間のおおよその相談件数

# 1800件

(参考) 令和2年の大阪市の5-19歳の人口: 262,855人

(Q1-6)

### 相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります (Q3-3)

### 24時間子供SOSダイヤルの何らかの周知活動

- ✓ 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

### 周知活動の内容詳細

- ✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

- 2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

- ✓ 3. 授業内での紹介

- 4. Twitter アカウントの運用・紹介

- 5. Instagram アカウントの運用・紹介

- 6. LINE アカウントの運用・紹介

- 7. 児童館での周知

- 8. 図書館での周知

- 9. バスや電車などでの周知

- 10. 塾・習い事などでの周知

- 11. NPO などへの周知

- ✓ 12. ローカルCM(テレビなど)

- 13. その他

- 14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

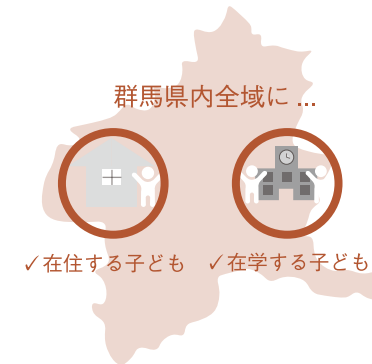
	在学中	不登校	中途退学
小学生	○	○	
中学生	○	○	
高校生 (通信・定時含む)	○	○	○
特別支援学校等	○	○	○

小学生未満	○
学校等に在学していない未成年	×
大学生 (20歳未満)	×
大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

✓ 4. 元教員など  
学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・  
公認心理師

2. 弁護士

✓ 3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

✓ 4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

✓ 6. 精神科医・  
心療内科医・思春科医

7. その他医師

8. 看護師・  
助産師・保健師

9. キャリア  
コンサルタント

10. その他の  
有資格者など

11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

# 埼玉県

埼玉県立総合教育センター

24 時間、365 日対応

一部時間帯で他機関へ委託

## 24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日							
0	委託運営													
6														
12								自主運営						
18														
24														

(Q1-9)  
(Q1-10)

※祝日・年末年始は土日と同じ体制

### 委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体

2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体

✓ 3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業

4. その他

(Q1-11)

### 委託理由

人員配置の都合

(Q1-12)

## 実施状況

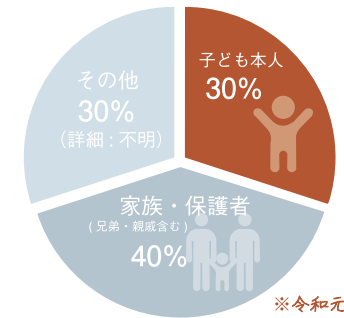
### 年間のおおよその相談件数

# 10000 件

(参考) 令和 2 年の埼玉県の 5-19 歳の人口: 963,804 人

(Q1-6)

### 相談者のおおよその内訳



※令和元年度実績

※回答のまま記載しているため 100%にならない場合があります

(Q3-3)

### 24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

### 周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

✓ 8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

✓ 13. その他

( 広報誌への掲載 )

14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	×
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

公表不可

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

公表不可

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営・委託運営同じ

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- ✓ 7. その他医師 (小児科医)
- 8. 看護師・助産師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- ✓ 10. その他の有資格者など (大学教授)
- 11. 該当なし (アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)



# さいたま市

さいたま市教育委員会  
総合教育相談室

- ☑ 24時間、365日対応
- ☑ 一部時間帯で他機関へ委託

## 24時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

1. 自機関が主体となって  
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

✓ 2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、  
悩みの解決までは主体となって担わないこと

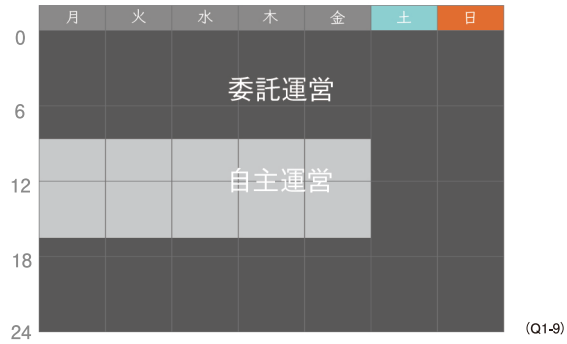
3. 子どもの話し相手となり、  
悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）  
の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体



(Q1-9)

※祝日・年末年始は土日と同じ体制 (Q1-10)

### 委託先の業種

- 1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
- 2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
- ✓ 3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
- 4. その他

(Q1-11)

### 委託理由

夜間、休日の対応は閉庁中のため実施できないため

(Q1-12)

## 実施状況

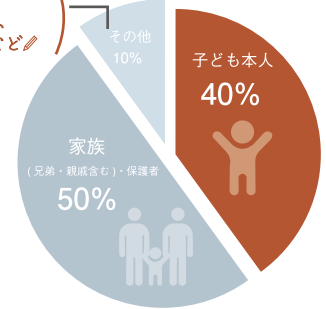
年間のおおよその相談件数

# 4000 件

(参考) 令和2年のさいたま市の5-19歳の人口: 178,450人

（詳細：  
18才以上の学生、  
成人、いたずらなど）

相談者のおおよその内訳



(Q1-6)

24時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- ✓ 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります

(Q3-3)

### 周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布

✓ 3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウント  
の運用・紹介

5. Instagram アカウント  
の運用・紹介

6. LINE アカウント  
の運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

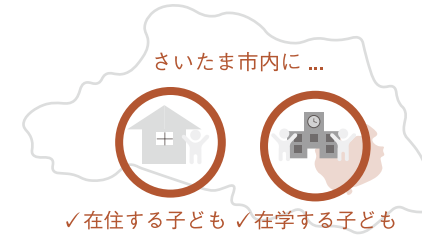
自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	×
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)  
(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- ✓ 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- ✓ 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

委託運営の場合

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- ✓ 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- ✓ 4. 元教員など学校現場の経験者
- ✓ 5. その他  
( 精神科医 )

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・助産師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

委託運営の場合

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- ✓ 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・助産師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

# 千葉県

千葉県教育委員会

千葉県子どもと親のサポートセンター

- 24 時間、365 日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

## 24 時間子供 SOS ダイヤルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

## 実施状況

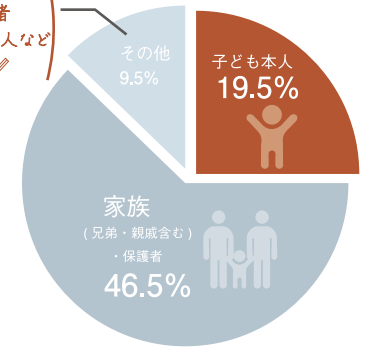
年間のおおよその相談件数

# 2013 件

(参考) 令和2年の千葉県の5-19歳の人口: 815,603人

詳細:  
学校関係者  
友人・恋人など  
不明含む

相談者のおおよその内訳



(Q1-6)

※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります

(Q3-3)

24 時間子供 SOS ダイヤルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介



7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

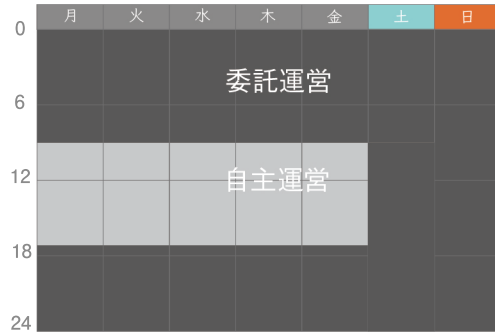
1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

## 運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体



(Q1-9)

※祝日・年末年始は土日と同じ体制 (Q1-10)

委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体

2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体

✓ 3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業

4. その他

(Q1-11)

委託理由

予算、人員配置

(Q1-12)

# 対象

## 対象者

自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学
小学生	○	○	
中学生	○	○	
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○
特別支援学校等	○	○	○

小学生未満	○
学校等に在学していない未成年	○
大学生 (20歳未満)	○
大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

## 対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ

千葉県内全域に...



✓ 在住する子ども ✓ 在学する子ども

※ただし、平日の8:30~17:15の千葉市内の固定電話からの発信を除く

(Q1-5)

(Q2-2)

# 対応者の専門性

## 相談員の属性

自主運営の場合

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- ✓ 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど
- ✓ 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者

- ✓ 4. 元教員など学校現場の経験者

- ✓ 5. その他  
(元職にかかわらず、  
所定の研修を修了している者)

(Q2-4)

委託運営の場合

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- ✓ 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者

- 4. 元教員など学校現場の経験者

- 5. その他

## 相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

- 2. 弁護士

- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士

- ✓ 4. 教員免許保持者

- 5. 婦人科医

- ✓ 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医

- 7. その他医師

- 8. 看護師・助産師・保健師

- 9. キャリアコンサルタント

- ✓ 10. その他の有資格者など  
(大学教授)

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師

- 2. 弁護士

- 3. 社会福祉士・精神科医

- 4. 教員免許保持者

- 5. 婦人科医

- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医

- 7. その他医師

- 8. 看護師・助産師・保健師

- 9. キャリアコンサルタント

- 10. その他の有資格者など

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

# 千葉市

千葉市教育委員会教育支援課

- 24 時間、365 日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

## 24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

1. 自機関が主体となって  
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、  
悩みの解決までは主体となって担わないこと
3. 子どもの話し相手となり、  
悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）  
の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

## 運営体制について

### およその時間帯ごとの運営主体



(Q1-9)

(Q1-10)

※祝日・年末年始は土日と同じ体制

### 委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
4. その他

(Q1-11)

### 委託理由

未回答

(Q1-12)

## 実施状況

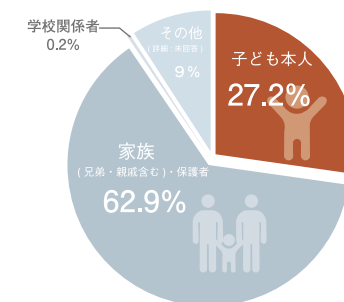
### 年間のおおよその相談件数

# 590 件

(参考) 令和2年の千葉市の5-19歳の人口: 128,468人

(Q1-6)

### 相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります

(Q3-3)

### 24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

### 周知活動の内容詳細

- 1. 全対象学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布

- 2. 一部の学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布

- 3. 授業内での紹介

- 4. Twitter アカウント  
の運用・紹介

- 5. Instagram アカウント  
の運用・紹介

- 6. LINE アカウント  
の運用・紹介

- 7. 児童館での周知

- 8. 図書館での周知

- 9. バスや電車などでの周知

- 10. 塾・習い事などでの周知

- 11. NPO などへの周知

- 12. ローカル CM(テレビなど)

- 13. その他

- 14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-2)

## 対象

### 対象者

自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	×
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	×	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	×	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

### 対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

## 対応者の専門性

### 相談員の属性

#### 自主運営の場合

1. 臨床心理士・公認心理師

2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

4. 元教員など  
学校現場の経験者

5. その他

#### 委託運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

4. 元教員など  
学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

### 相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

#### 自主運営の場合

1. 臨床心理士・  
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・  
助産師・保健師

9. キャリア  
コンサルタント

10. その他の  
有資格者など

✓ 11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

#### 委託運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・  
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・  
助産師・保健師

9. キャリア  
コンサルタント

✓ 10. その他  
(学校心理士 or 国立私立学校において  
スクールカウンセラーとしての経験を有する者)

11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)



# 東京都

東京都教育相談センター

- ☑ 24時間、365日対応
- ☑ 一部時間帯で他機関へ委託

## 24時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までサポートして担わないこと
3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

該当する選択肢がない

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体



(Q1-9)

※祝日・年末年始は土日と同じ体制 (Q1-10)

### 委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業

✓ 4. その他(詳細:未回答)

(Q1-11)

### 委託理由

未回答

(Q1-12)

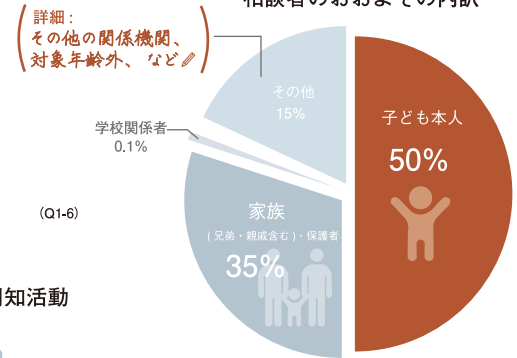
## 実施状況

年間のおおよその相談件数

# 4000件

(参考) 令和2年の東京都の5-9歳の人口: 1,608,709人

### 相談者のおおよその内訳



(詳細: その他の関係機関、対象年齢外、など)

※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります

(Q3-3)

### 24時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

### 周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等(チラシ、ポスター等)の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等(チラシ、ポスター等)の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

✓ 1. 行っている

2. 行っていない

(Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

全体の接続率

# 65%

## 対象

### 対象者

自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

### 対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

## 対応者の専門性

### 相談員の属性

自主運営・委託運営同じ

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- ✓ 2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど
- ✓ 3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者
- ✓ 4. 元教員など  
学校現場の経験者
- 5. その他

(Q2-4)

### 相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営・委託運営同じ

- ✓ 1. 臨床心理士・  
公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士
- ✓ 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・  
助産師・保健師
- 9. キャリア  
コンサルタント
- 10. その他の  
有資格者など
- 11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)



# 新潟県

新潟県教育委員会

- 24時間、365日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

## 24時間子供SOSダイヤルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6						委託運営	
12						自主運営	
18							
24							

※祝日・年末年始は土日と同じ体制

(Q1-9)

(Q1-10)

### 委託先の業種

- 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
- 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
- ✓ 3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
4. その他

(Q1-11)

### 委託理由

休日・夜間の相談体制の確保が難しいため

(Q1-12)

## 実施状況

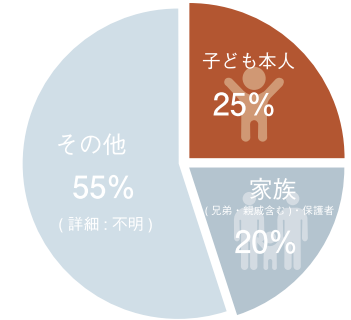
年間のおおよその相談件数

# 1500件

(参考) 令和2年の新潟県の5-19歳の人口: 281,965人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります

(Q3-3)

24時間子供SOSダイヤルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

### 周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

✓ 3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

✓ 13. その他

(いじめ対策ポータルサイトで紹介)

14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	×
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	×	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	×	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

✓ 4. 元教員など  
学校現場の経験者

5. その他

委託運営の場合

1. 臨床心理士・公認心理師

2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

4. 元教員など  
学校現場の経験者

✓ 5. その他  
(心理に関する専門性、  
経験を有する者)

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営・委託運営同じ

1. 臨床心理士・  
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・  
助産師・保健師

9. キャリア  
コンサルタント

10. その他の  
有資格者など

✓ 11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

委託運営の場合

1. 臨床心理士・  
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・  
助産師・保健師

9. キャリア  
コンサルタント

10. その他の  
有資格者など

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

スーパーバイザーを配置している

(Q2-5)

# 富山県

富山県教育委員会小中学校課

- ☑ 24時間、365日対応
- ☑ 全ての時間帯で自主運営

## 24時間子供SOSダイヤルの主たる目的

- ✓ 1. 自機関が主体となって  
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
- ✓ 2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、  
悩みの解決までは主体となって担わないこと
- ✓ 3. 子どもの話し相手となり、  
悩みの解決までは主体となって担わないこと
- ✓ 4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)  
の悩みに寄り添い解決すること

※全て当てはまり、1つに絞ることができない

(Q1-7)

## 運営体制について

### およその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

全ての時間帯で自主運営

※祝日・年末年始も同じ体制

(Q1-9)

(Q1-10)

## 実施状況

### 年間のおおよその相談件数

件数は公表していない

(参考)令和2年の富山県の5-19歳の人口:133,983人

(Q1-6)

### 相談者のおおよその内訳

未回答

(Q3-3)

### 24時間子供SOSダイヤルの何らかの周知活動

- ✓ 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

### 周知活動の内容詳細

- ✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitterアカウント  
の運用・紹介

5. Instagramアカウント  
の運用・紹介

6. LINEアカウント  
の運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカルCM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

1. 行っていない 未回答

(Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

1. 行っていない 未回答

(Q4-2)

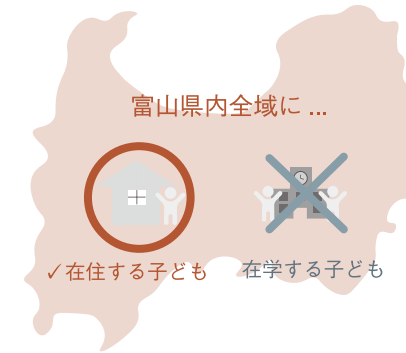
対象

対象者

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	×	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	×	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

未回答

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・助産師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

# 石川県

石川県教育委員会学校指導課

- 24時間、365日対応
- 全ての時間帯で自主運営

## 24時間子供 SOS ダイヤルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

※全て当てはまるが、あえて回答するとこのようになる

## 実施状況

年間のおおよその相談件数

# 2000 件

(参考) 令和2年の石川県の5-19歳の人口: 154,661人 (Q1-6)

相談者のおおよその内訳

# 未回答

(Q3-3)

24時間子供 SOS ダイヤルの何らかの周知活動

- ✓ 1. している
- 2. していない (Q3-1)

周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等(チラシ、ポスター等)の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等(チラシ、ポスター等)の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

## 運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

全ての時間帯で自主運営

(Q1-9)

※祝日・年末年始も同じ体制 (Q1-10)

接続率についての調査

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	×
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性



(Q1-5)  
(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

未回答

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- ✓ 2. 弁護士
- ✓ 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- ✓ 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・助産師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

# 福井県

福井県教育委員会

- 24時間、365日対応
- 全ての時間帯で自主運営

## 24時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

1. 自機関が主体となって  
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、  
悩みの解決 **未回答** して担わないこと
3. 子どもの話し相手となり、  
悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）  
の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

## 実施状況

年間のおおよその相談件数

# 未回答

(参考) 令和2年の福井県の5-19歳の人口: 107,284人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳

# 未回答

(Q3-3)

24時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

- 1. 全対象学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布

- 2. 一部の学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布

- 3. 授業内での紹介

- 4. Twitter アカウント  
の運用・紹介

- 5. Instagram アカウント  
の運用・紹介

- 6. LINE アカウント  
の運用・紹介

- 7. 児童館での周知

- 8. 図書館での周知

- 9. バスや電車などでの周知

- 10. 塾・習い事などでの周知

- 11. NPO などへの周知

- 12. ローカル CM(テレビなど)

- 13. その他

- 14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-2)

## 運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

全ての時間帯で自主運営

(Q1-9)

※祝日・年末年始も同じ体制

(Q1-10)

対象

対象者

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	×
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	×	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	×	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

未回答

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- ✓ 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- ✓ 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- ✓ 7. その他医師
- 8. 看護師・助産師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- ✓ 10. その他有資格者  
(児童相談所職員)
- 11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)



# 山梨県

山梨県総合教育センター

- ☑ 24 時間、365 日対応
- ☑ 一部時間帯で他機関へ委託

## 24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

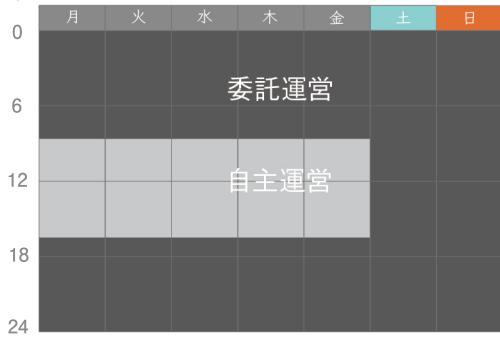
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体



※祝日・年末年始は土日と同じ体制

### 委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
- ✓ 3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
4. その他

### 委託理由

組織再編に伴い委託

## 実施状況

### 年間のおおよその相談件数

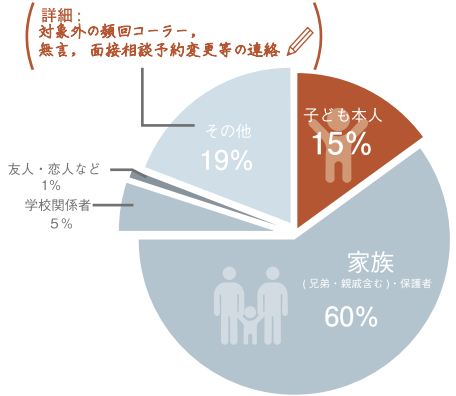
# 1700 件

(参考) 令和 2 年の千葉県の 5-19 歳の人口: 108,108 人

### 24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- ✓ 1. している
- 2. していない (Q3-1)

### 相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため 100%にならない場合があります (Q3-3)

### 周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM( テレビなど )

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない (Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない (Q4-2)

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- ✓ 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

委託運営の場合

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- ✓ 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど
- ✓ 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・助産師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・助産師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

分からない・把握していない

(Q2-5)

# 長野県

長野県教育委員会

- 24時間、365日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

## 24時間子供 SOS ダイヤルの主たる目的

1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決 **未回答** して担わないこと
3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

## 実施状況

### 年間のおおよその相談件数

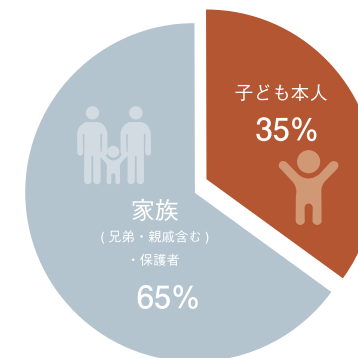
# 1614 件

※令和元年度値

(参考) 令和2年の長野県の5-19歳の人口: 280,062人

(Q1-6)

### 相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります

(Q3-3)

### 24時間子供 SOS ダイヤルの何らかの周知活動

- 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

### 周知活動の内容詳細

- 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

- 2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

- 3. 授業内での紹介

- 4. Twitter アカウントの運用・紹介

- 5. Instagram アカウントの運用・紹介

- 6. LINE アカウントの運用・紹介

- 7. 児童館での周知

- 8. 図書館での周知

- 9. バスや電車などでの周知

- 10. 塾・習い事などでの周知

- 11. NPO などへの周知

- 12. ローカル CM (テレビなど)

- 13. その他

(相談対象生徒全員に周知カードを配布)

- 14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-2)

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体



(Q1-9)

(Q1-10)

※祝日・年末年始は土日と同じ体制

### 委託先の業種

- 1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体

- 2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体

- 3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業

- 4. その他

(ホットライン・電話相談を主たるサービスとする民間企業)

(Q1-11)

### 委託理由

効率的な24時間の相談体制を維持するため

(Q1-12)

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

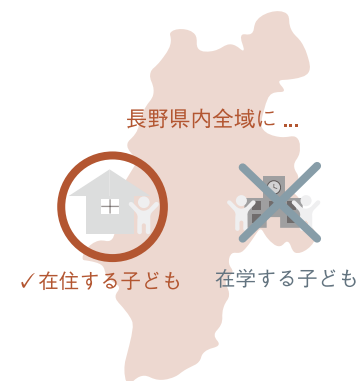
	在学中	不登校	中途退学
小学生	○	○	
中学生	○	○	
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○
特別支援学校等	○	○	○

小学生未満	×
学校等に在学していない未成年	×
大学生 (20歳未満)	×
大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

4. 元教員など  
学校現場の経験者

✓ 5. その他  
(指導主事)

(Q2-4)

委託運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

✓ 4. 元教員など  
学校現場の経験者

5. その他

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

1. 臨床心理士・  
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・  
助産師・保健師

9. キャリア  
コンサルタント

10. その他の  
有資格者など

✓ 11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

委託運営の場合

1. 臨床心理士・  
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・  
助産師・保健師

9. キャリア  
コンサルタント

10. その他の  
有資格者など

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

分からない・  
把握していない

(Q2-5)

# 岐阜県

岐阜県教育委員会学校安全課

- 24 時間、365 日対応
- 全ての時間帯で自主運営

## 24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

✓ 4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

## 運営体制について

### およその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

全ての時間帯で自主運営

(Q1-9)

※祝日・年末年始も同じ体制 (Q1-10)

## 実施状況

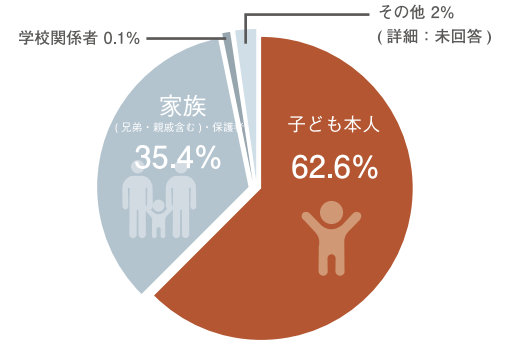
### 年間のおおよその相談件数

# 1600 件

(参考) 令和 2 年の岐阜県の 5-19 歳の人口 :280,160 人

(Q1-6)

### 相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため 100%にならない場合があります

(Q3-3)

### 24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

### 周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

✓ 13. その他

(メール配信)

14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

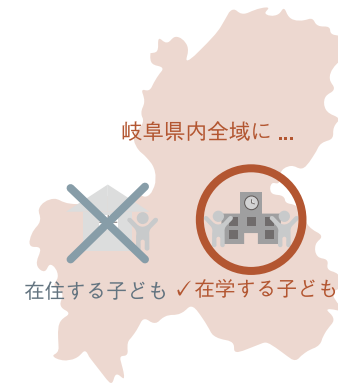
対象

対象者

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	×
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど
- ✓ 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・助産師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など

- ✓ 11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

# 静岡県

静岡県教育委員会

(静岡県総合教育センター)

24時間、365日対応

一部時間帯で他機関へ委託

## 24時間子供SOSダイヤルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

※/ではあるが、解決までとはいえない

## 実施状況

### 年間のおおよその相談件数

国への提供(回答)にとどめる

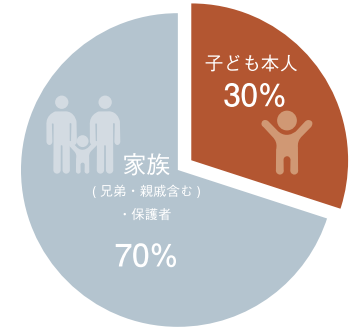
(参考) 令和2年の静岡県の5-19歳の人口: 494,808人 (Q1-6)

### 24時間子供SOSダイヤルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない (Q3-1)

### 相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります (Q3-3)

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0	委託運営						
6	委託運営						
12	自主運営						
18	自主運営						
24	委託運営						

(Q1-9)  
(Q1-10)

※祝日・年末年始は土日と同じ体制

### 委託先の業種

- 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
- 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
- コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
- その他

回答しない

(Q1-11)

### 委託理由

回答しない

(Q1-12)

### 周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等(チラシ、ポスター等)の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等(チラシ、ポスター等)の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカルCM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない (Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない (Q4-2)

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

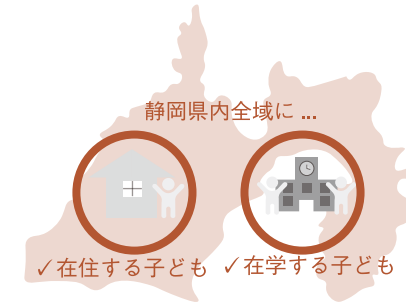
	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

※幼稚園年長から高校卒業年齢まで

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

✓ 4. 元教員など  
学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・  
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・  
助産師・保健師

9. キャリア  
コンサルタント

10. その他の  
有資格者など

11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)



# 静岡市

静岡市子ども未来局青少年育成課  
子ども若者相談センター

- 24 時間、365 日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

## 24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0	委託運営						
6	委託運営						
12	自主運営						
18	自主運営						
24	委託運営						

(Q1-9)

※祝日・年末年始は土日と同じ体制 (Q1-10)

### 委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業

✓ 4. その他

( 悩みのある方々への支援をサービスとする民間企業 )

(Q1-11)

### 委託理由

24 時間体制で相談窓口を設置するため

(Q1-12)

## 実施状況

### 年間のおおよその相談件数

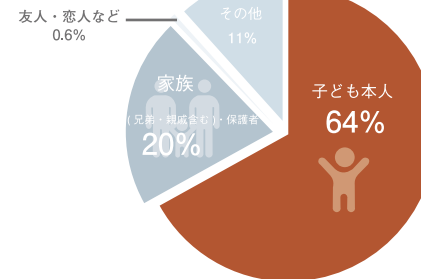
562 件

※令和元年度値

(参考) 令和2年の静岡市の5-19歳の人口: 87,820人

【詳細:  
途中で電話を切ってしまうケース、  
聞いかけても不答のケース等】

### 相談者のおおよその内訳



(Q1-6)

※令和元年度実績

※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります

(Q3-3)

### 24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

### 周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

✓ 3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

✓ 7. 児童館での周知

✓ 8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

✓ 11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

### 接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

相談員が相談者の応答内容や様子等から判断をして、満足度を設定している (5段階で評価しています)。  
www.city.shizuoka.jp

(Q4-2)

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

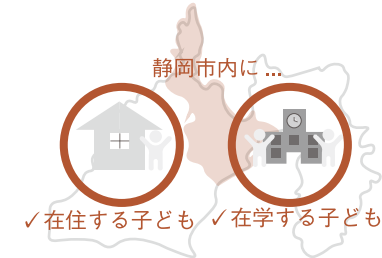
	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	○
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	○

※いじめ等に悩む子どもとその家族や関係者

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



※ただし、他市の小・中・高校生の相談についても電話相談を受け付けている。

(Q1-5)  
(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

4. 元教員など  
学校現場の経験者

✓ 2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

✓ 5. その他

3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

3, 4 も含まれるが、「教職又は福祉職の経験を有し、かつ、電話相談に1年以上の経験を有する者」を条件としている。

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・  
公認心理師

✓ 6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医

2. 弁護士

7. その他医師

✓ 3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

8. 看護師・  
助産師・保健師

4. 教員免許保持者

9. キャリア  
コンサルタント

5. 婦人科医

✓ 10. その他の有資格者など  
(大学教授)

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

※(スーパーバイズの体制は) 委託の条件のひとつとして設定しています。

# 浜松市

浜松市教育委員会学校教育部  
指導課教育総合支援センター

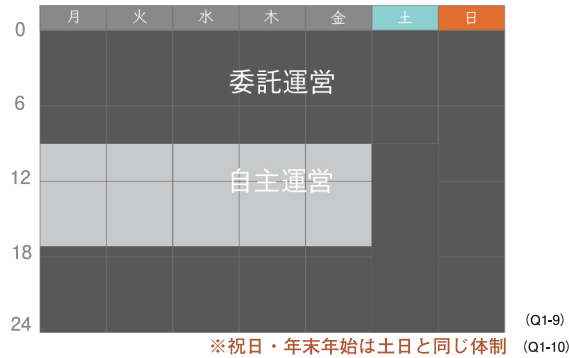
- 24 時間、365 日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

## 24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

- 自機関が主体となって  
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
- 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、  
悩みの解決までは主体となって担わないこと
- 子どもの話し相手となり、  
悩みの解決までは主体となって担わないこと
- 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)  
の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体



### 委託先の業種

- 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
  - 子ども支援以外、**未回答**とする非営利団体
  - コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
  - その他
- (Q1-11)

### 委託理由

勤務時間外のため

(Q1-12)

## 実施状況

### 年間のおおよその相談件数

把握していない  
・わからない

(参考)令和2年の浜松市の5-19歳の人口: 111,289人 (Q1-6)

### 相談者のおおよその内訳

未回答

(Q3-3)

### 24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- 1. している
- 2. していない (Q3-1)

### 周知活動の内容詳細

- 1. 全対象学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等)の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウント  
の運用・紹介

5. Instagram アカウント  
の運用・紹介

6. LINE アカウント  
の運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

### 接続率についての調査

- 1. 行っている
  - 2. 行っていない
- (Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
  - 2. 行っていない
- (Q4-2)

## 対象

### 対象者

自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学
小学生	○	○	
中学生	○	○	
高校生 (通信・定時制含む)	×	×	×
特別支援学校等	×	×	×

小学生未満	×
学校等に在学していない未成年	×
大学生 (20歳未満)	×
大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

### 対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



※浜松市以外の静岡県内からかかってきた場合  
対応することがあります。

(Q1-5)

(Q2-2)

## 対応者の専門性

### 相談員の属性

自主運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

✓ 4. 元教員など  
学校現場の経験者

5. その他

委託運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

4. 元教員など  
学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

※学校現場の経験者は含まれないことがある

### 相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・  
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

✓ 4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・  
助産師・保健師

9. キャリア  
コンサルタント

10. その他の  
有資格者など

委託運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・  
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

11. 該当なし  
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・  
助産師・保健師

9. キャリア  
コンサルタント

10. その他の  
有資格者など

(Q2-5)

※教員免許保持者はいないことがある

# 愛知県

愛知県教育委員会

## 24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

1. 自機関が主体となって  
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、  
悩みの解決までは主体となって担わないこと

✓ 3. 子どもの話し相手となり、解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）  
の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

✓ 24 時間、365 日対応

✓ 全ての時間帯で他機関へ委託

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

全ての時間帯で委託運営

※ 祝日・年末年始も同じ体制 (Q1-9) (Q1-10)

### 委託先の業種

✓ 1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体

2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体

3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業

4. その他 (Q1-11)

### 委託理由

未回答 (Q1-12)

## 実施状況

年間のおおよその相談件数

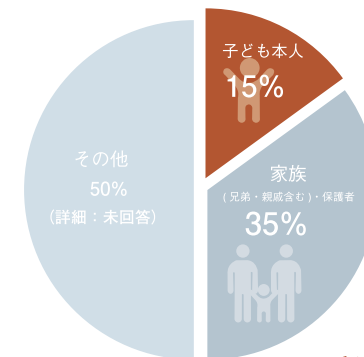
# 9500 件

※ ころの電話との合算した値

(参考) 令和 2 年の愛知県の 5-19 歳の人口: 1,062,612 人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳



※ ころの電話も含む

※ 回答のまま記載しているため 100% にならない場合があります (Q3-3)

## 24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

## 周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等  
(チラシ、ポスター等) の配布

✓ 3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウント  
の運用・紹介

5. Instagram アカウント  
の運用・紹介

6. LINE アカウント  
の運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM( テレビなど )

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

## 接続率についての調査

✓ 1. 行っている

2. 行っていない

(Q4-1)

全体の接続率

# 44.1%

※ 令和 2 年 10 月 - 2 月実績

## 利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	×
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性



(Q1-5)  
(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど
- ✓ 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- ✓ 4. 元教員など学校現場の経験者
- ✓ 5. その他 ( ボランティア )

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- ✓ 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・助産師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし ( アドバイス・スーパーバイズは実施していない )

(Q2-5)

# 三重県

三重県教育委員会事務局

研修企画・支援課

- 24 時間、365 日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

## 24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

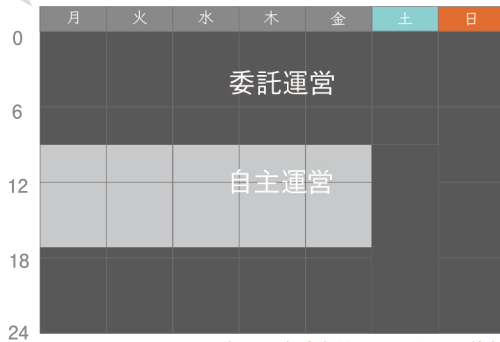
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

## 運営体制について

### おおよその時間帯ごとの運営主体



※ 祝日・年末年始は土日と同じ体制 (Q1-9)

### 委託先の業種

- 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
- 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
- ✓ 3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
4. その他 (Q1-11)

### 委託理由

- より効果的、専門的な相談を実施するため、相談の専門業者に委託している
- 県独自で24時間対応できる勤務体制を作るのが難しいため
- 専門的で資格を有する相談員を確保することが難しいため

(Q1-12)

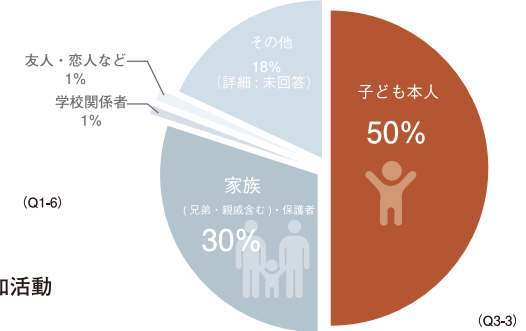
## 実施状況

### 年間のおおよその相談件数

# 1200 件

(参考) 令和2年の三重県の5-19歳の人口: 244,174人 (Q1-6)

### 相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります (Q3-3)

### 24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- ✓ 1. している
- 2. していない (Q3-1)

### 周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

✓ 13. その他

(ホームページ、テレビ)

14. 何も実施していない (Q3-2)

### 接続率についての調査

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない (Q4-1)

### 利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない (Q4-2)

## 対象

### 対象者

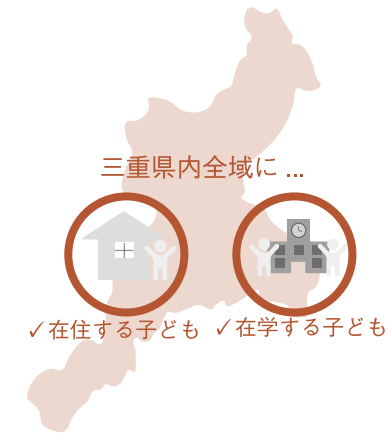
自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

### 対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

## 対応者の専門性

### 相談員の属性

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

2. 上記以外の心理士・  
カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の  
管理職経験者

✓ 4. 元教員など  
学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

### 相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・  
公認心理師

2. 弁護士

✓ 3. 社会福祉士・  
精神保健福祉士

✓ 4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

6. 精神科医・  
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・  
助産師・保健師

9. キャリア  
コンサルタント

10. その他の  
有資格者など

(Q2-5)